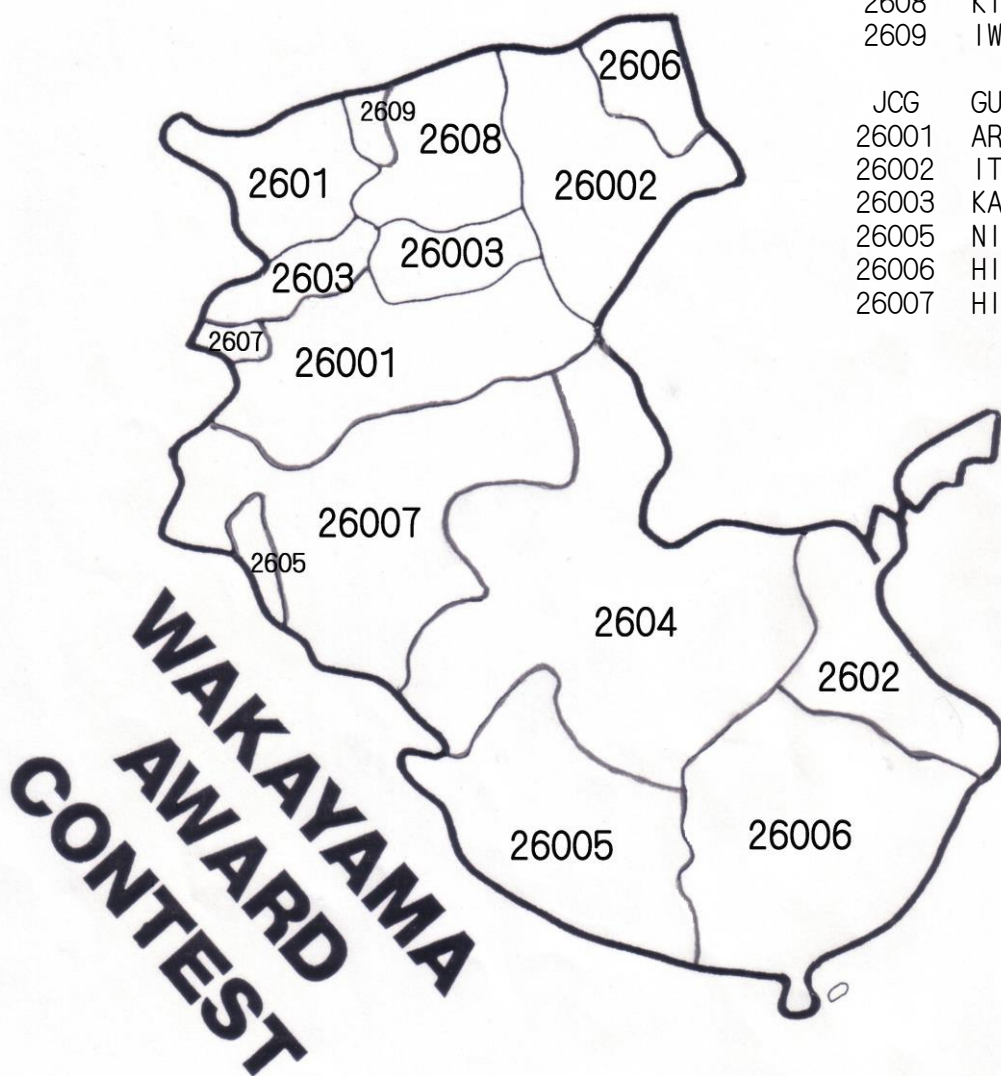


和歌山県支部報

2007. 2

JCC	CITY
2601	WAKAYAMA
2602	SHINGU
2603	KAINAN
2604	TANABE
2605	GOBOU
2606	HASIMOTO
2607	ARIDA
2608	KINOKAWA
2609	IWADE

JCG	GUN
26001	ARIDA
26002	ITO
26003	KAISOU
26005	NISIMURO
26006	HIGASIMURO
26007	HIDAKA



支部大会・ハムの集いのご案内

J A R L 和歌山県支部

日 時 平成19年2月11日(日)

10:00ハムの集い 13:00支部大会

場 所 河北コミュニティーセンター 2F

和歌山市市小路192-3

平成18年度JARL和歌山県支部大会

- (1) 開会の辞
- (2) 支部長挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 平成17年度行事報告・同決算報告
- (5) 平成18年度中間報告・同決算報告
- (6) 平成19年度行事計画・同予算説明
- (7) 監査指導委員長現状報告
- (8) 第18回和歌山コンテスト結果報告
- (9) 和歌山アワード発行状況報告
- (10) 非常通信訓練結果報告
- (11) 意見交換 その他
- (12) 閉会の辞

新任のご挨拶

(社) 日本アマチュア無線連盟 和歌山県支部
支部長 JA3EQC 廣井 五十二

昨年の五月末、JH3EZV 勝本支部長の後任として、支部長に就任しました。勝本支部長は JARL のみならず世の中が困難な時代にあって、六年間支部長の任を熱心に果たされましたことに対し、まず新任者としてお礼を申し上げたいと存じます。

さて、現在の JARL を取り巻く状況としては、法人化、PLC 問題など必ずしも安易な状況ではありません。社会の構成するものの一つとしての JARL でありますれば、我々だけの論理が一方向的に通る訳ではありませんが、正しい論理としての我々の意見がすべて無視される訳でもない、私は信じております。ここは JARL の持つ英知とか社会性のある趣味であることの正当な評価も得て、より良き方向に展開されることを願っております。

和歌山県支部も地方支部の一つではありますが、これらの推移に関心を持つと共に、我々のハム社会のベースを守る為、みなさまの協力は重要なこととなります。

一方、和歌山県支部として現在のところ大きな課題とか問題は何もありませんが、地域的な懸念として南海・東南海地震の恐れが言われております。我々は被災者になる可能性もある中での啓蒙活動ですが、まずは昨今、行政府が言っている言葉を借りますと、三日間は自助努力で自分を守って下さい。必要に応じて、また災害時に余力があれば、特技を持つアマチュア無線家として、無線を通じての社会貢献をしていただくために平素からの設備、環境の整備と心の準備をお持ちいただきたいというお願いがございます。

アマチュア無線の団体としての JARL の起こりは、いわば同好の士が蕎麦屋の二階で楽しく語り合ったようなものでございましょう。組織が大きくなり、社会、技術レベルが変革し JARL の活動もそのままと言う訳には参りませんが、本来のアマチュア・スピリットを無くしてしまうのであれば、何のための趣味の団体と申せましょう。会員数は確かに減少しましたが、見方を変えれば量より質の時代を迎えたとも感じられます。長く無線をやってられる方、今一度無線に復帰されようとする方、新たに参入される方に広域なレベルでの「質」としてのアマチュア無線の文化、技術などを提供できるよう催しに重点を置いてまいります。

どうぞ、今後の支部活動にも積極的に参加され、またみなさまのハムとして益々のご活躍を願い、新任の挨拶にかえさせていただきます。

どうぞご協力をよろしくお願い申し上げます。

J A R L 和歌山県支部大会・ハムの集いに寄せて

(社) 日本アマチュア無線連盟

関西地方本部長 J A 3 H X J 長谷川 了彦

P L C 問題が新しい局面を迎えています。これまでの経緯はご承知の通りですが今一番の関心ごとは P L C モデムが市場に出現し、今まで好奇のまなこで注目してきた商品を現実に手にすることができ、実験や検証を加えることが可能になりました。

昨年 1 2 月、パナソニックコミュニケーションズ製のモデムが発売され同時に関西地方本部でも実験と検証を開始しました。

まず皮切りに 1 2 月 2 2 日伊丹市で実験を行いました。この実験を通して多くの事実が判りました。それはそこから更にまた新しい疑問と課題が見つかるという際限ない繰り返しが始まったような印象があり P L C を取り巻く複雑さを感じました。

この実験は同時に毎日放送の報道番組「V O I C E」の取材を受けました。この取材に協力した意図は番組側から P L C が抱える問題の周知について意欲的な企画を告げられたからです。この報道を通じてアマチュア無線側の何でも反対というイメージを抑制し、共存により P L C が抱える多くの課題を解消できるのではないかと期待がありました。

しかし、1 月 9 日放送された放送内容は本質的な P L C の問題に全く触れられず単なる商品紹介と P L C 絶賛の屈辱的な内容に変わっていました。

長時間に亘って実験を通じて取材に協力し誠実にお話した内容は排除され、わずか数秒取り上げられた私のコメントはあたかもこの商品を賞賛しているかのように扱われ、意図する思いは 100% カットされました。大変残念なことだと思っています。この背景はあえて申し上げませんが、ご想像の通りです。

今アマチュアの間で P L C に関する思惑やこれに対抗する手段に不協和音を生じているようにも見えますが、今回のこの放送事件で改めて P L C の底知れない不気味さを感じます。

ただ私たちが今何をしなければならぬかを考えるとやはり今後発売される機器類の検証と実験を絶えることなく続けることです。そこから何が見えるか何をしなければならぬかをつきとめなければなりません。

そして何よりも忘れてならないことは、P L C 機器から出るノイズが短波帯を通じて地球を覆ってしまうことです。この大問題が地球規模の環境問題として社会に提起していく努力を続けなければなりません。

J A R L 関西地方本部は、昨年から P L C モデムから出るノイズを実際に聞いていただきこの雑音が地球を取り巻くことを許さない意志を訴えていきたいと思っています。

P L C が抱える基本的な課題が明確になる日まであきらめずに取り組みたいと思います。

ご 挨拶

(社) 日本アマチュア無線連盟

監 事 後 藤 太 栄

－ J H 3 G A H －

* 最も強い者が生き残る？！

アマチュア無線界を、そして連盟を取り巻く社会情勢は決して明るいものではないことは、皆様も感じておられると思います。今、公益法人を組織する者の最大の関心事は公益法人改革、所謂新しい社団・財団法に対応した組織への移行問題です。

我が連盟も公益社団法人に移行できなければ、一般社団法人、もしくは単なる任意の団体にならざるを得ません。会員（社員）の皆様方はあまりこの事に関心を持っておらず、まして危機感を持っておられる方はごく僅かだと思います。

しかし、今回の法人改革への対応を間違うと、今後の我が国におけるアマチュア無線のあり方に大きな影響があることを是非ご認識頂きたいと思います。

もう一つのトピックはやはりPLC問題でしょう。近年、アマチュア無線の社会的プレゼンスが低くなったせいか、行政、業界、そして各メディアにおいてもアマチュア無線側の主張が軽く見られているように感じます。

U・SHF帯がどんどん浸食され、折角あいてきたHF帯がノイズで使いものにならない・・・そんな時代が来ないことを祈るばかりです。

久しぶりに昔読んだダーウィンの進化論を年末に紐解いてみました。久々に触れたダーウィンの理論は、一般社会やアマチュア無線界にも通じるところがあるなあ、と新たな発見をしました。(Hi)

ダーウィンは「最も強い者が生き残るのではない。最も賢い者が生き残るのでもない。変化に対応できる者が生き延びるのだ。」と結論づけました。

翻って、我々は変化に対応できているのか？、過去に拘り、因習に縛られていないか？、そんな問いかけをしながら新年を迎えました。自分の変化ではなく、周りの変化に対応することは大変難しく、時としてストレスさえ覚える困難さを伴います。

今日、アマチュア無線を取り巻く環境は平穏ではありませんが、社会の変化を敏感に感じつつ、我々の真の位置を確認しながら、持続可能な方策を模索しようではありませんか！

ご 挨拶

(社)日本アマチュア無線連盟
評議員 JH3EZV 勝本 健

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様方には益々ご隆昌のことゝお喜び申し上げます。

昨年は3期6年間に亘るJARL和歌山県支部長の任務を退き、今度は諸先輩の方々の薦めもあって関西地方選出の評議員として出発しました。

支部長在任期間中は支部役員や支部会員の皆様方は勿論のこと、関西地方本部管内の役員をはじめ諸先輩方、更にJARL事務局の暖かいご支援とご協力を得て、曲がりなりにも和歌山県支部の舵取りを果して来ました。

これも偏に、諸先輩方のご指導と支部会員の皆様方の積極的なご協力に恵まれた結果だと心より感謝しています。

幸い、後任として廣井支部長/JA3EQCが就任されましたので、これまでよりも素晴らしい和歌山県支部の将来が開けて来ることは間違いありません。

どうかこれからも、私が在任していた時代より以上に大きく発展させて行きましょう。

さて、ご承知のように現在のJARLには幾つかの大きな問題が横たわっています。
会員減少に端を発した右肩下がりの傾向は、携帯電話の爆発的な普及をも伴って、QSLカードの転送回数を半減、地方事務所の閉鎖や職員の減少、JARL NEWSの季刊化などの対策を実行し乍らも今なお止まるところを知りません。

更に、現在直面している大きな問題は、公益法人制度の改革や電力線搬送通信(PLC)と電子タグ(RF-ID)など出現です。

特に公益法人制度の改革はJARLの存続を賭けた重要な問題ですが、昨年公布された社団・財団法人に始まり、今年はいこれらの政省令の内容が明らかになる見込みですが、公益法人として存続する(認定を受ける)ためには公益的事業比率が総支出の50%以上であることのほか、総会開催の要件、公益目的事業、遊休財産など乗り越えなければならない幾多の厳しいハードルがありますので、JARLでは部内の有識者による検討会や弁護士を加えた新法への適合性の精査に取り組んでいきます。

今後も公益法人として残れるのか、或いは一般社団法人・NPO法人・単なる団体などになってしまうのか、その差は社会的な信頼度や税制の優遇面で大きいと予想されていますので、是非とも公益法人としての認定を受けたいところです。

甘い考えですが、仮に認定を受けられるとしても、定款の変更・総会の開催と議決要件の変更・遊休財産の保有制限などの諸問題が伴うのは避けられないようです。

最終的な新体制への移行は平成21~22年頃の予定ですが、JARLとしては新法関連の情報を収集しつつ、最善の努力を怠らずに取り組んでいますので、アマチュア無線の趣味を楽しく続けて行くためにもどうか会員の皆様方のご理解を頂きたいと思ひます。

最後に皆様方のご健康とご活躍を祈念します。

平成 18 年度監査指導報告

JARL 和歌山県支部監査指導委員長

JA3DF0/小林嘉弘

JARL 和歌山県支部の皆様には日頃から監査指導にご協力をいただき有難うございます。アマチュアバンドの適切な運用の促進の為に、当県支部の監査指導委員は日夜活躍をしています。今後共、各局のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 18 年度の監査指導報告書の一部を抜粋して下記に報告いたします。

監査指導報告

平成 18 年度最終報告は平成 19 年 3 月になりますので、平成 17 年度 3 月分を含み計 1 年分の集計としました

区分	144Mhz	430Mhz	計
アマチュアバンドの使用区分を守らない	104	132	236
周波数の逸脱	7	6	13
通信事項	44	44	91
呼出符号の不送出	117	169	286

- この集計はごく一部の結果です。相変わらず使用区分とコールサインの送出が守れない局が多い様です。コールサインの送出と共にアマチュアバンドの使用区分も電波法に規定された法律です。

ガイダンスの運用報告

平成 18 年度 1 月 1 日～3 月 31 日の 3 ヶ月間和歌山県内にてガイダンス局を担当委員にて運用致しました。ガイダンス局と運用とは不適切運用局に対して直接に電波で注意を呼びかけるもので、JARL 指定の機器を使用し特別に運用を許可された委員によって行います。

結果は詳細なデータとして JARL から通信局陸上課に報告されます。

区分	144Mhz	430Mhz	計
アマチュアバンドの使用区分を守らない (FM 帯)	29	10	39
アマチュアバンドの使用区分を守らない (宇宙通信帯)	1	18	19
アマチュアバンドの使用区分を守らない (レピーター帯)		2	2
アマチュアバンドの使用区分を守らない (バンド)	11	0	11
呼び出し符号を送出しない	45	31	76
仕事の連絡等の運用	2	0	2

- 以上合計 149 回のガイダンス運用を行いました。

ガイダンス運用にたいして協力的な局、無視する局さまざまですが、ガイダンス局の運用の重要性から今後より充実した運用が行われます。又ガイダンス局運用についてもより周知が計られ送信内容もより適切なものにと検討されています。

アマチュアバンドの使用区分を守ろう ●バンド内は非常通信周波数も設定されています

広帯域の電話 (FM) の使用できるのは 144.70~145.65MHz と 431.40~431.90MHz と 432.10~434.00MHz です。その内 145.00 は呼出周波数と共に 145.50MHz も非常通信周波数です。又 433.00 は呼出周波数と共に 433.50MHz も非常通信周波数です。

H 1 8 年度和歌山県非常通信訓練結果報告

No.	CALL		運用地	ログ提出	コメント
1	JA3BBY		かつらぎ町		
2	JA3BPX/3		新宮市		
3	JA3CHT/3		御坊市		
4	JA3DFN		和歌山市		
5	JA3DF0		和歌山市	○	いつもお世話になります。先日の非常通信訓練ではご苦勞様でした。当日は用件の為短時間のみの参加になってしまいましたが、ログを添付致しました。
6	JA3EQC/3		和歌山市/紀美野町	○	日曜日は、暑い中ご苦勞様でした。例年より、多数の方が参加されていたように思いますが如何だったでしょうか？
7	JA3ESL		和歌山市	○	
8	JA3FRI		紀の川市		
9	JA3TMJ		和歌山市		
10	JF3NIM/3		有田川町	○	和歌山市防災訓練ご苦勞様。非常通信訓練のログ送ります。運用場所有田川町（旧吉備町）コスモスパーク標高586m ANT 144・430共用モバイルホイップ RIG FT4600H 50W 宜しく
11	JH3UPQ/3	田倉	紀美野町	○	いつもお世話になっています。
12	J13PJI		紀の川市		
13	JK30CJ		串本町	○	
14	J03EAJ	田口	かつらぎ町	○	訓練に初参加させていただきまして、ありがとうございました。今後ともよろしく願います。当方5Wハンディ機での運用でしたので、出力、バッテリーともに心配だったのですが楽しかったです。
15	JP3KLJ		和歌山市/和歌山市	○	
16	JR3EPZ		有田市		
17	JR3KUF		和歌山市/和歌山市	○	

各局さんH 1 8 年度の非常通信訓練参加ありがとうございました。

毎年、非常通信を行う事無く、非常通信訓練を行える事に今年も一年無事だったと嬉しく思います。

1946年（昭和21年）12月21日 昭和南海道地震は、和歌山県の潮岬の沖合い50キロの海底でマグニチュードは8.0の巨大地震でした。静岡県から九州にかけての海岸には津波が押し寄せ全国で1330人が死亡、3万5000棟余りの家屋が全壊または半壊しました。安政元年に起こってから90年目に起こっているこの地震から今年でちょうど60年目にあたります。

過去の例に習えば最短で後30年、最長でいけば後87年だから、私たちの生きている内は大丈夫！とは誰も言っていません。名古屋大学理学部の液状化調査によると2006年±10年という予測も出ていますから、今日来ても全く不思議では無い事になります。

家具の転倒防止、寝室へのスリッパや靴の装備、3日分の水・食料の確保とともに、無線機の状態維持、バッテリーや乾電池発電機の燃料維持、車の燃料は半分を目処に給油するなど自主防衛に努めて行(活)きたいと、あらためて思います。

来年も無事、非常通信訓練でお会いできることを願っております。 JR3KUF 池上和彦

平成17年度支部費決算報告

平成17年4月1日～平成18年3月31日

科目	金額	備考
前期繰越高	¥107,824	
(収入の部)		
支部費	¥240,000	
賞典収入	¥2,040	賞典収入より発送経費を差し引いた金額
雑収入	¥0	
受取利息	¥0	
計	¥242,040	
(支出の部)		
支部大会費	¥0	
会議費	¥24,420	運営委員会・クラブ代表者会議など
催物費	¥170,489	ホール/会議室使用料・ハムの集い・関ハムなど
渉外費	¥0	
通信費	¥11,000	切手代・支部報送料
交通費	¥0	
消耗品費	¥0	
支部報発行費	¥31,060	コピー機トナー代金・コピー用紙
事務印刷費	¥0	
コンテスト費	¥41,948	賞品・送料など
賞典費	¥0	
非常通信費	¥0	
監査指導費	¥0	
雑費	¥7,646	JH3YCD電波使用料・弔電・QSL発送など
計	¥286,563	
次期繰越高	¥63,301	

平成18年度支部費中間報告

平成18年4月1日～平成18年12月31日

科目	金額	備考
前期繰越高	¥63,301	
(収入の部)		
支部費	¥250,000	
賞典収入	¥0	
雑収入	¥0	
受取利息	¥6	
計	¥250,006	
(支出の部)		
支部大会費	¥0	
会議費	¥26,280	運営委員会・クラブ代表者会議など
催物費	¥32,720	ホール/会議室使用料・関ハム・ハムログ講習会など
渉外費	¥0	
通信費	¥0	
交通費	¥0	
消耗品費	¥0	
支部報発行費	¥0	
事務印刷費	¥0	
コンテスト費	¥39,510	賞品・送料など
賞典費	¥0	
非常通信費	¥0	
監査指導費	¥0	
雑費	¥2,840	弔電
計	¥101,350	
次期繰越高	¥211,957	

平成17年度支部行事報告

平成17年4月1日～平成18年3月31日

日付	行事項目
平成17年4月3日	第17回和歌山コンテスト
4月22～29	8N3Xの和歌山県内移動運用
5月21・22日	関西アマチュア無線フェスティバル(池田市民文化会館他)
5月29日	第47回JARL通常総会(宮城県・仙台市)
6月3～9	8N3KANの和歌山県内移動運用
7月10日	支部運営委員会・登録クラブ代表者会議
8月28日	CW & DX ミーティング(和歌山市河北コミセン)
9月4日	第9回和歌山県非常通信訓練(144MHz, 430MHz FM)
10月28・29日	和歌山県防災総合訓練(和歌山市・ビックホエール他)
10月30日	超初心者のハムログ講座(和歌山市河北コミセン)
11月6日	支部運営委員会・登録クラブ代表者会議(和歌山市河北コミセン)
12月4日	関西年末ハムの集い(池田市民文化会館他)
平成18年1月～2月	ガイダンス局の運用
2月12日	和歌山県支部ハムの集い(和歌山市中央コミセン)
3月12日	支部運営委員会

平成18年度支部行事中間報告

平成18年4月1日～平成18年12月31日

日付	行事項目
平成18年4月2日	第18回和歌山コンテスト
6月3日	KANHAM記念局の県内移動運用(岩出市)
5月14日	支部運営委員会・クラブ代表者会議(和歌山市河北コミセン)
5月28日	第48回JARL通常総会
6月10・11	関西アマチュア無線フェスティバル(池田市民文化会館他)
7月9日	支部運営委員会・クラブ代表者会議(和歌山市河北コミセン)
8月27日	CW・DXミーティング(和歌山市河北コミセン)
8月27日	和歌山県防災総合訓練
9月3日	第10回非常通信訓練
10月15日	フィールドミーティング
10月22日	支部運営委員会・クラブ代表者会議(和歌山市河北コミセン)
11月5日	超初心者のハムログ講座(和歌山市河北コミセン)
12月～1月	ガイダンス局の運用
12月3日	関西年末ハムの集い
平成19年2月11日	和歌山県支部ハムの集い(和歌山市河北コミセン)
3月11日	支部運営委員会

平成19年度支部事業計画（案）

平成19年1月23日

実施予定年月日	行 事 項 目
平成19年4月1日(日)	第19回和歌山コンテスト
5月13日(日)	支部運営委員会・クラブ代表者会議
5月20日(日)	第49回通常総会 連盟本部(倉敷市)
5月26・27	関西アマチュア無線フェスティバル
7月8日(日)	支部運営委員会・クラブ代表者会議
8月19日(日)	CW・DXミーティング
8月26日(日)	和歌山県防災総合訓練和歌山県主催(田辺市)
9月9日(日)	第11回非常通信訓練
10月14日(日)	フィールドミーティング関西地方本部主催
10月21日(日)	全日本ARDF大会
11月4日(日)	和歌山県支部テクニカル講座
11月25日(日)	支部運営委員会・クラブ代表者会議
12月～1月	ガイダンス局の運用
12月2日(日)	関西年末ハムの集い関西地方本部主催
平成20年2月3日(日)	和歌山県支部ハムの集い
3月9日(日)	支部運営委員会・クラブ代表者会議

8月最終の日曜日を恒例の開催日としていましたCW・DXミーティングは和歌山県防災総合訓練と重なるため、8月19日の開催としました。

平成19年度支部予算（案）

平成19年1月23日

(収入の部)	19年度予算(案)	18年度予算	前年度比
支部費	¥250,000	¥230,000	¥20,000
賞典収入	¥6,000	¥6,000	¥0
雑収入	¥0	¥0	¥0
受取利息	¥0	¥0	¥0
計	¥256,000	¥236,000	¥20,000

(収出の部)	19年度予算(案)	18年度予算	前年度比
支部大会費	¥0	¥0	¥0
会議費	¥50,000	¥50,000	¥0
催物費	¥100,000	¥100,000	¥0
渉外費	¥0	¥0	¥0
通信費	¥10,000	¥10,000	¥0
交通費	¥0	¥0	¥0
消耗品費	¥0	¥0	¥0
支部報発行費	¥30,000	¥30,000	¥0
事務印刷費	¥21,000	¥1,000	¥20,000
コンテスト費	¥42,000	¥42,000	¥0
賞典費	¥0	¥0	¥0
非常通信費	¥2,000	¥2,000	¥0
監査指導費	¥0	¥0	¥0
雑費	¥1,000	¥1,000	¥0
計	¥256,000	¥236,000	¥20,000

18年度予算作成時には支部費は¥230,000でしたが、実際の決定時には¥250,000でした。従って、現時点では19年度支部費は昨年並みとの内示をもとに、¥250,000で予算化していますが、正式に決定された金額ではありません。

事務印刷費¥20,000の増額は、和歌山アワードの印刷費用に充当するものです。

第18回和歌山コンテスト結果

県内 個人・電信

1. 9MHZ		
① JH3EZV		4

3. 5MHZ		
① JI4EAW/3	1,400	
2 JA3BYR	726	

7MHZ		
① JA3VUI	7,266	
2 JF3WNO/3	3,312	
3 JA3MWU	912	

14MHZ		
① JE3QZV		4

50MHZ		
① JA9XAT/3		1

144MHZ		
① JI4EAW/3		1

県内 個人・電信電話

7MHZ		
① JR3KUF/3	15,892	
2 JA3BPX	11,660	

21MHZ		
① JG3SKK	180	
2 JN3DMJ	1	

50MHZ		
① JE3QZV	98	
2 JA3DFO	15	

144MHZ		
① JE3CSO/3	1,215	
② JF3NIM/3	966	
3 JG3SKK	672	
4 JM3ROY/3	588	
5 JS3FRA	225	
6 JP3KLJ	88	

430MHZ		
① JA3TLL/3	108	
2 JH3UPQ	80	
3 JF3OZF/3	77	

1200MHZ		
① JK3UWI		1

県内登録クラブの部

① 有田アマ無線クラブ	4,986
2 和歌山葵クラブ	2,072
3 和歌山2mSSB愛好会	1,054
4 アマ無線南海クラブ	589
5 潮岬ハムクラブ	192

HF MULTI

① JK3HLP/3	78,912
② JF3NZA	38,081
3 JA3CFH	15,678
4 JK3UWI	10,535
5 JH3QED	4,982
6 JA3EQC	2,072

VU MULTI

① JA3FRI	583
2 JF3WNO/3	400
3 JN3DMJ	352

県内 社団の部

① JR3YSG/3	192
------------	-----

県外 個人・電信

1. 9MHZ		
① JR4WDX		9
2 JA0SNS		9
3 JK2IKQ		4
4 JL4WYY		1

3. 5MHZ		
① JH7PSL	30	
② JK2XLJ	24	
3 JR2VWY	24	
4 JA9AJU	12	
5 JF10IJ	6	
6 JE2LSL	4	
7 JA30EA	4	
8 JA0DVE	4	

7MHZ		
① JA1COP	30	
② JR2SQU	30	
③ JE1UKM	30	
4 JQ2CZJ	25	
5 JA5HPX	25	
6 JA1XPU	20	
7 JN3ANO	16	
8 JH20MM	16	
9 JF1CQH	12	
10 JA9CHG	12	
11 JN1UEP/4	9	
12 JH1NXU	9	
13 7L3WEV	9	
14 JE2XBS	4	
15 JM7EPG	4	
16 JA3AVO	1	
17 JA1FWY	1	
18 JE7ENK/7	1	

HF MULTI

① JA3AA	270
② JF2MVI	180
③ JA6FOF/6	132
4 JF2FIU	130
5 JA7AEM	77
6 JA4BDY	63
7 JA7DLE	56
8 JF3CHM	56
9 JR5HXU	56
10 JH4JUK	49
11 JA8AJE	42
12 JA1HG	36
13 JA3RSJ	36
14 JH8UGL	16
15 JH1MTR/4	9

県外 個人・電信電話

3. 5MHZ		
① JR5PPN	25	
2 JH2WFS	16	
3 JA6PVO	4	
4 JA5UAA	4	
5 JA1BEX	1	

7MHZ		
① JL10EC	143	
② JF2WME	143	
③ JG1TVK	130	
4 JL2LFK	80	
5 J03AYN	80	
6 JR1CJD/1	56	
7 JN1AEI	56	
8 JI2QIX	49	
9 JG2V0J	49	
10 JN1RIN	49	
11 JN4JAM	42	
12 JL2PCI/3	42	
13 JI1IIF	42	
14 JM1AHX	42	
15 JH1LFP	36	
16 JL4GEL	30	
17 JA0ITY	30	
18 JJOFSM	30	
19 JA1XEM	30	
20 JA6DH	25	
21 JQ2QCQ	25	
22 JH4QJP	20	
23 JA6FXL	16	
24 JN4JJJ	16	
25 JE0VfV	16	
26 JR10ZO	16	
27 JA1JUR	16	
28 JK1IRH	16	
29 JH7OUW	9	
30 JQ1AHZ/6	9	
31 JG3SVP	9	
32 JL4LHB	9	
33 JM1RMI/0	9	
34 JN4UUS	9	
35 JA3QVV	4	
36 JR3KAH	4	

21MHZ

① JR3AAZ	4
2 JA3RAZ	1

28MHZ

① JJ3TTH	1
----------	---

50MHZ

① JH5UPI/5	6
------------	---

144MHZ

① JK3DDU	112
② JG5WLV	91
3 JL3RDC	4
4 JM3GVH	2
5 JA3WFQ	1
6 JM3HYL	1
7 JH3USU	1

HF MULTI

① JM1LRQ	825
② JR2DOL	720
3 JE0EHE	546
4 JR4URW	540
5 JK3HFN	456
6 JA3RK	221
7 JA3WFQ	110
8 JH50XF	63
9 JK2VOC	42

VU MULTI

① JA3AA	63
2 JL3WXS/3	16
3 JA3RK	15

県外 社団の部

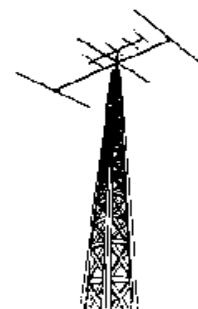
① JI1YUA	56
2 JH3ZIW/3	42

SWL

① JA1-22825	304
2 JA4-37294	99
3 JA3-6644	9

丸付き数字は入賞局

同得点は交信時間の早い方が上位です



第 19 回和歌山コンテスト

日時 4月1日(日)09:00~21:00JST

参加資格 日本国内のアマチュア無線局および SWL

部門 N=和歌山県内の部 G=和歌山県外の部 S=SWL の部

種目・コード・使用バンド 下記一覧表のとおり

	和歌山県内		和歌山県外	
	電信	電信電話	電信	電信電話
★個人局の部				
1. 9MHz シングルバンド	NC1.9	—————	GC1.9	—————
3. 5MHz シングルバンド	NC3.5	NX3.5	GC3.5	GX3.5
7MHz シングルバンド	NC7	NX7	GC7	GX7
14MHz シングルバンド	NC14	NX14	GC14	GX14
21MHz シングルバンド	NC21	NX21	GC21	GX21
28MHz シングルバンド	NC28	NX28	GC28	GX28
HF (1.9~28MHz) マルチバンド	NCHF	NXHF	GCHF	GXHF
50MHz シングルバンド	NC50	NX50	GC50	GX50
144MHz シングルバンド	NC144	NX144	GC144	GX144
430MHz シングルバンド	NC430	NX430	GC430	GX430
1200MHz シングルバンド	NC1200	NX1200	GC1200	GX1200
V・U (50~1200MHz) マルチバンド	NCVU	NXVU	GCVU	GXVU
★社団の部				
マルチバンド電信・電話	—————	NXMA	—————	GXMA
★SWL の部				
マルチバンド電信・電話	SWL (和歌山県内・外共通)			

周波数区分 JARL 主催コンテスト使用周波数帯を適応。

1.9/1200MHz はアマチュアバンド使用区分を準用する。

呼出 ○県内局 (電信) CQ WK TEST IN DE J*3***

(電話) CQ 和歌山コンテスト こちらは県内局 J*3***

○県外局 (電信) CQ WK TEST DE J*7***

(電話) CQ 和歌山コンテスト こちらは県外局 J*7***

交信の相手局 県内局=国内全域 県外局=和歌山県内局のみ

コンテストナンバー 県内局 RS(T)+市・郡ナンバー

県外局 RS(T)+都府県支庁ナンバー

得点 1 交信を 1 点とする。SWL は和歌山県内のみを 1 点とする。ただし

同一バンド内での重複はモードが異なっても得点としない。

マルチプライアー ○県内局=各バンドごとに都府県支庁(和歌山県を除く)および
和歌山県内の市郡を 1 マルチとする。

○県外局=各バンドごとに和歌山県内の市郡を 1 マルチとする。

総得点 得点合計 x マルチ合計

提出書類 JARL コンテストログおよびサマリー、またはそれと同一と見なし得る書式とする。

締切 4 月 30 日(月)消印有効

提出先 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱 1 号 JARL 和歌山県支部コンテスト係

E-mail : wakayama@jarl.com

問合せ 上記と同じ

賞状 各部門、種目別にエントリー数が 5 局以内は 1 位のみ。6~10 局は 2 位、11 局以上は 3 位まで賞状を発行する。

禁止・その他 ○JARL コンテスト規約に準じる。

○ エントリーは個人局は 2 種目以内、社団局は 1 種目以内とする。

ただし 2 種目とは HF 帯(1.9~28MHz)と V・UHF 帯 (50~1200MHz)で各 1 種目。

同一個人が個人局や社団局など 2 以上のコールサインを、使用してのログ提出は認めない。

○ 和歌山県内局はマルチバンドで運用し、シングルバンドにエントリーできる。

○ 和歌山県内登録クラブ構成メンバーは、提出書類に登録クラブ名を記入すること。

○ コンテスト結果が必要な方は、長形 3 号の封筒に 80 円切手を貼った SASE を同封して下さい。

○ 移動局に対して、移動した事実を証明できるもの(宿泊先の領収書、当該地域での買い物の領収書、移動地で撮影した日付入の写真など)の提出を求め場合があります。また、サマリーで移動先の記載は単に市郡名の記載ではなく、**市**山、山頂付近などの具体的地域の記載をお願いします。

○ 副賞の「和歌山県特産品」はエントリー数、得点などにより、県内の部・県外の部ともに入賞 10 個程度+特別賞 1 個程度。

○ 今年の特別賞は 20 回記念を配慮した選定も含めます。

○ <電子ログで提出される場合のお願い>

電子ログは JARL Web に記載の電子ログ作成ツール(最新版)に従うこと。

ウイルス対策上から原則として添付ファイルは受け付けない。

件名欄は「WK-TEST」、送信者名は「氏名」または「コールサイン」を正しく名乗り
悪戯と紛らわしい送信者名は使用しないで下さい。

メールで提出時 1 部門 1 メールとし 2 部門を同一メールで送付しないで下さい。

和歌山アワード規程

2007-4-1 現在

下記のように和歌山県内の市郡町村から各1枚のQSLカードを取得する。

1. Excellent 賞 : 30市町村
2. A賞 : 9市
3. B賞 : 6郡
4. C賞 : 20町
5. D賞 : 1村

特記 : シングルバンド・シングルモードのみ特記する。

申請方法 : JARL 制定のアワード申請書およびカードリストを使用し、手数料を添えて申請すること。

SWL および外国局にも発行する。

(申請者の自己申告のみで良く、証明者は必要としない)

また、和歌山コンテストにおいて当該市郡町村とQSOしたが、そのQSLカードを取得出来ない場合、事実関係をコンテスト委員会が確認出来るものについては当該QSOを認めるので申請先へ問い合わせること。

但し、最近の5年以内に限る。(5年経過後はJARL文書管理規定で廃棄のため)

手数料 : 郵便小為替にて1賞のみは500円。

複数賞を同時に申請する場合は2賞目以降の1賞につき300円づゝ加算する。

外国局は1賞につき5IRCとする。

その他 : 市町村名の変更や増減が行なわれた場合は、それらの施行日を以って本規定も改定されたものとする。

申請先 : 〒641-8691 和歌山南郵便局私書箱1号 JARL 和歌山県支部アワード係

問合せ先 : 申請先に同じ (SASEに限る)

電子メールの場合は、 jr3eqg@jarl.com または ja3eqc@jarl.com

発行者 : JARL 和歌山県支部

『和歌山アワード規定』に述べている、現存する和歌山県内の市郡町村とは下記の通りです。

【市】 和歌山市 : 新宮市 海南市 田辺市 御坊市 橋本市 有田市 紀の川市 岩出市

【町】 有田郡 : 広川町 湯浅町 有田川町

伊都郡 : 九度山町 かつらぎ町 高野町

海草郡 : 紀美野町

西牟婁郡 : 上富田町 白浜町 すさみ町

東牟婁郡 : 古座川町 太地町 那智勝浦町 串本町

日高郡 : みなべ町 由良町 印南町 日高町 美浜町 日高川町

【村】 東牟婁郡 : 北山村

今後も引き続いて平成の合併が予定されていますが、これに伴う和歌山アワードの申請条件を下記の通り明確にしておきます。

JARL 発行のWACA およびWAGA方式を採用します。即ち、各賞毎に最終交信時点において現存する市・郡・町・村を有効とし、消滅した市・郡・町・村は無効とする。

また、申請に際してJARLが制定している市・郡番号(JCCおよびJCGナンバー)を使用することは差し支えないが、ハムログなどが制定している町・村番号・記号はJARLとして認めていないので、町・村名をその俛記入して下さい。

アワード発行状況

(平成18年1月1日～12月31日)

	No.	呼出符号	氏名	特記
Excellent賞	61	JF2CLU	伏屋 英典	7MHz-SSB
	62	JA6CLJ	池田 一雄	7MHz-SSB
A賞	190	JR2NRP	本多 清	50MHz-SSB
	191	JH4WHE	永峰 彰	7MHz-SSB
	192	JE6NDJ	前橋 博	
B賞	145	JR2NRP	本多 清	50MHz-SSB
C賞	申請なし			
D賞	申請なし			

JARL和歌山県支部登録クラブ一覧(平成17・18年度)平成18年4月1日改訂

クラブ名称	登録番号	代表者名	CALL	電話番号	jarl.com
はまゆうアマチュア無線クラブ	26-01-01	古久保恭一	JA3CHT	0738-22-6955	◎
有田アマチュア無線クラブ	26-01-02	岩崎好宏	JA3CF	073-432-1298	◎
ハム高野山クラブ	26-01-12	中尾 勲	JR3TPS	0736-56-3653	-
潮岬ハムクラブ	26-01-17	南部 清	JE3AIU	0735-62-0481	◎
紀州路田辺ハムクラブ	26-01-18	鈴木博雄	JA3RPY	0739-72-2062	◎
桐蔭高校アマチュア無線クラブ	26-02-02	梅本教正	JA3WRV	073-426-0118	◎
和歌山葵クラブ	26-04-01	廣井五十二	JA3EQC	073-445-2889	◎
オールディ紀の国	26-04-03	加藤明利	JA3BY	073-475-4421	◎
紀南ハムクラブ	26-04-04	立花 昇	JR3XKN	0735-21-2321	◎
和歌山クラブ	26-04-06	笹井美秋	JA3BL	073-444-3896	◎
和歌山2m SSB愛好会	26-04-22	田中将夫	JF3NIM	073-482-3202	◎
和歌山身障ハムクラブ	26-04-24	鍛冶幸雄	JH3MRB	0737-63-0130	-
アマチュア無線南海クラブ	26-04-25	浅井章寛	JA3BFS	073-451-2302	◎

JARL和歌山県支部運営委員名簿(平成18・19年度)

平成18年7月30日改訂

役職名	CALL	氏名	郵便番号	住所	電話番号	jarl.com
支部長	JA3EQC	廣井五十二	641-0036	和歌山市	073-445-2889	◎
副支部長	JR3RXM	臼井貞行	640-8306	和歌山市	073-471-2390	◎
運営委員	JF3NIM	田中将夫	642-0001	海南市	073-482-3202	◎
運営委員	JR3KUF	池上和彦	641-0062	和歌山市	073-444-3080	◎
運営委員	JA3WRV	梅本教正	641-0045	和歌山市	073-426-0118	◎
運営委員	JA3DF0	小林嘉弘	641-0011	和歌山市	073-447-1009	◎
運営委員	JA3FXB	岡本圭司	642-0022	海南市	073-482-5429	◎
運営委員	JF3IVR	前谷昌男	640-1103	紀美野町	073-489-2079	◎
運営委員	JR3EQG	辻村光司	649-0301	有田市	0737-88-5332	◎
運営委員	JR3EPZ	福島 博	649-0313	有田市	0737-83-0984	◎
運営委員	JA3CHT	古久保恭一	644-0002	御坊市	0738-22-6955	◎
運営委員	JH3SYB	田上茂樹	646-0031	田辺市	0739-25-1882	◎
運営委員	JG3QEV	川崎紀久男		串本町		-
相談役	JA3BL	笹井美秋	641-0012	和歌山市	073-444-3896	◎
オブザーバー (連盟・監事)	JH3GAH	後藤太栄	648-0211	高野町	0736-56-4724	◎
オブザーバー (評議員)	JH3EZV	勝本 健	640-8482	和歌山市	073-461-3232	◎

JARL和歌山県監査指導委員(平成18・19年度)

平成18年4月1日改訂

役職名	CALL	氏名	郵便番号	住所	電話番号	jarl.com
委員長	JA3DF0	小林嘉弘	641-0011	和歌山市	073-447-1009	◎
委員	JE3GON	池上 賢	646-0003	田辺市	0739-25-5650	◎
委員	JG3QEV	川崎紀久男		串本町		-
委員	JK3UWI	中川慎二	649-6531	紀の川市	0736-73-6238	◎
委員	JA3DFN	高田秀志	640-8413	和歌山市	073-451-9555	◎
委員	JA3BY	加藤明利	640-8303	和歌山市	073-475-4421	◎
委員	JH3GAH	後藤太栄	648-0211	高野町	0736-56-4724	◎
委員	JA3FXB	岡本圭司	642-0022	海南市	073-482-5429	◎
委員	JR3KJM	土津田榮一	640-1171	海南市	073-487-0666	◎